

決算報告

一般会計歳出合計

312億8927万円

問 財政課内線1221

令和4年度決算がまとまり、10月に開かれた第3回定例会において認定されました。一般会計では、前年度比で歳入は0.8%の減、歳出は0.6%の増となりました。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにご使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

令和4年度に 取り組んだ 主な事業

令和4年度は、2040年度を基本構想期間とした「牛久市第4次総合計画基本構想」に基づき、福祉・教育・産業振興・防犯・環境など異なる分野間の効果的な連携を図り、出産・子育て・教育・就業支援など多種多様なニーズに対し、さらなる充実に努めました。

すべての人が生き生きとした人生を送るまち



●子ども家庭総合支援 拠点を設置する

751万6千円

担当／保健福祉部

子どもとその家庭および妊産婦等を対象に、子どもに関する相談全般から専門的な相談対応および継続的な支援を行う機能を担う拠点を、保健センター内に設置しました。

母子保健の相談機関である子育て世代包括支援センター「すまいる」との連携強化を推進し、包括的な支援体制の構築を図ります。

●民間保育園の 運営を支援する

19億9796万6千円

担当／保健福祉部

民間保育園の運営、建設に対する助成を行っています。

令和元年度から、民間保育園の保育士等処遇改善事業補助金を短時間保育士まで拡大しています。

●予防接種を実施する

1億7556万4千円

担当／保健福祉部

予防接種法に定める定期接種に加え、おたふくかぜワクチンなど任意の予防接種への助成を実施。令和3年度からは、子どものインフルエンザ予防接種

への助成も行っています。



未来を拓き、 地域を担う人が 育つまち

●介護予防と保健事業 を一体的に実施する

14万2千円

担当／保健福祉部

保健・医療・介護分野で連携し、糖尿病予防については75歳以上も含めるよう対象を拡大、フレイル予防については対象学校区を拡大し実施しました。高齢者の健康づくりに寄与し、医療・介護の抑制や、健康的な地域づくりを目指します。



新校舎予定図

●おくの義務教育学校で特色ある 教育活動を推進する

447万8千円

●おくの義務教育学校一体型校舎 を建設する

6470万円

担当／教育委員会

児童生徒数の減少が進む奥野地区で令和2年4月に開校したおくの義務教育学校において、国際理解教育の充実や地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めています。また、既存校舎を一体型校舎として整備するために令和3年度～4年度にかけて建物の基本実施設計を行っています。

●小中学校空調更新事業

3億3459万8千円

担当／教育委員会

老朽化が進む小中学校の空調の更新を行っています。学校施設の更新計画に基づき、順次、空調設備の更新工事等を実施しています。



魅力ある「しごと」とにぎわいが生まれるまち

●牛久市観光協会を支援する

1157万6千円

担当／環境経済部

観光情報の発信や観光資源の活用のため、牛久市観光協会を支援しています。令和2年6月にエスカード牛久ビル2階にオープンした牛久市観光物産館「いばらき自慢」の運営を支援しています。

●牛久市商工会の運営を助成する

2434万円

担当／環境経済部

商工会のさまざまな事業への支援を行っており、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による市内事業者支援として実施した、クーポン付きチラシ「うしくブルブル大作戦」の発行への助成も行いました。

●リフレを維持管理する

9085万6千円

担当／総務部

より身近に行政サービスを提供する拠点として、JRひたち野リフレビル2階に、「ひたち野リフレプラザ市民窓口」を開設し、令和5年2月よりオープンしました。各種証明書の発行や異動に伴う各種手続き等の業務を行い、マイナンスカードやパスポートの交付も取り扱います。



みんなの創意工夫で未来をつくるまち

●行政区集会所の整備や管理に

対する助成をする

2304万3千円

担当／市民部

地域コミュニティ活動の拠点となる集会所施設の整備・管理にかかる経費の助成を行い、コミュニティ活動の推進と充実に努めています。令和4年度は、東岡見行政区集会所の新築を行ったほか、各行政区集会所の修理等経費の補助を行いました。

多様な世代が安心快適に住み続けられるまち

●コミュニティバスの運行を管理する

7970万9千円

●デマンド型公共交通サービスを実施する

3985万9千円

担当／経営企画部

コミュニティバスかつぽ号、デマンド型乗合タクシーを運行。高齢者や運転免許を持たない交通弱者等の移動手段を確保するとともに、公共交通不便地域の解消を図っています。



●都市計画を適正に管理する

4805万5千円

担当／建設部

ひたち野地区における宅地需要に因應するため、将来的に市街化区域の拡大が見込めるエリアにて、組合施行による土地区画整理事業を予定しています。令和4年度は前年度に引き続き、都市計画決定図書作成、関係機関との協議等を実施しました。

●防犯カメラを設置する

732万円

担当／市民部

牛久警察署と協議の上、主要交差点等に街頭防犯カメラの整備を実施。令和4年度は、下根東交差点に街頭防犯カメラを設置し、加えて既存の防犯カメラ6基を更新しました。



行政が市民に信頼されているまち

豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち

●地球温暖化対策を推進する

257万円

担当／環境経済部

ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいます。令和3年度より住宅用環境配慮型設備導入補助金を見直し、家庭用燃料電池システムおよび定置用リチウムイオン蓄電システムの設備設置に補助を行いました。

●ふるさと寄附に対し特産品を返礼する

2億5675万8千円

担当／市長公室

ふるさと納税制度により、牛久市を応援していただける寄附者を募っています。令和4年度は、魅力的な返礼品や、ポータルサイトの拡充を図ったことにより、5億1302万2千円のご寄附をいただきました。寄附金は、ご指定いただいた各種施策・事業の貴重な財源として活用しています。



決算詳細は次ページへ

歳出

312億8,900万円

前年度に比べ1億9,400万円、0.6%増加しました。

歳入

332億6,300万円

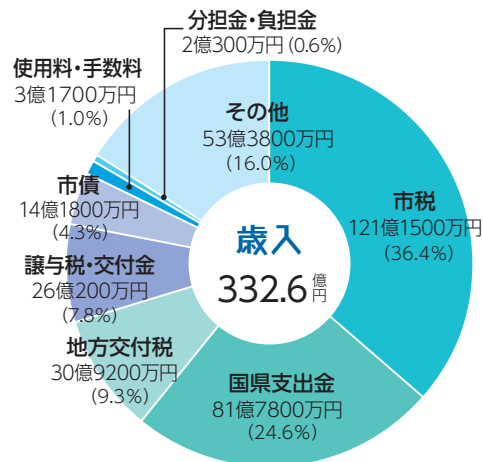
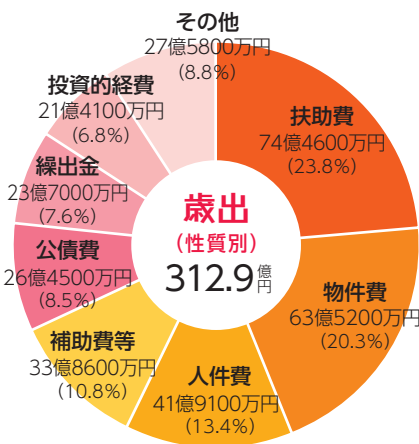
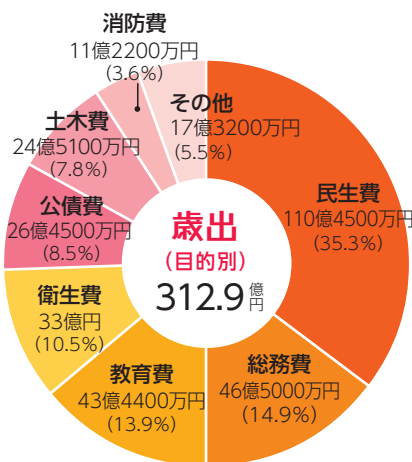
前年度に比べ2億8,500万円、0.8%減少しました。

令和4年度決算は、歳入については市債が減額となったことなどにより、昨年度より減額となりました。一方で歳出については、住宅用LED照明等買替費用助成や公共施設電気料などによる物件費の増額により、昨年度より増額となりました。

<牛久市は、深刻な財政危機には至っていない状況です>

牛久市の借金である市債残高は、令和4年度末は前年度比で10億5千万円減少しています。

歳入で一番大きな割合を占める市税については、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する以前までは堅調に伸びていましたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向となっています。



市民一人当たりの歳出内訳(一般会計)

市民一人当たりが負担したお金(市税)

144,033円(昨年度144,326円)

※市税総額÷住基人口(令和5年3月31日時点)

市民一人当たりに使われたお金

371,991円(昨年度368,091円)

※歳出総額÷住基人口(令和5年3月31日時点)

民生費131,313円/総務費55,280円/教育費51,650円/衛生費39,228円/土木費29,144円/消防費13,341円/公債費31,446円

●企業会計

会計名	収益的収入および支出	
	収入	支出
下水道事業	16億5,800万円	15億4,300万円
	資本的収入および支出	
	収入	支出
	7億3,700万円	12億3,000万円

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億8,600万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額2,600万円、過年度分損益勘定留保資金9,800万円および当年度分損益勘定留保資金3億6,300万円を補てんしました。

●特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	74億9,700万円	74億9,600万円
青果市場事業	1,600万円	1,600万円
介護保険事業	59億8,600万円	58億5,500万円
後期高齢者医療事業	21億9,300万円	21億9,300万円

令和4年度 その他の 主要施策

●物価高騰に対する
各種事業者の運営を
支援する
8949万円

担当/環境経済部、
保健福祉部、教育委員会

原油価格・物価高騰の影響により、厳しい経営状況にある各種事業者に対し、事業継続支援として、国の臨時交付金を活用し、物価高騰対策補助金を交付しました。

●住宅用LED照明等の
買替費用を助成する
2億1486万9千円

担当/環境経済部

電力の価格高騰による住民の負担増を踏まえ、一世帯にあたり2万円を上限にLED照明等の設置・購入に使用できるクーポン券を交付しました。